

今年のインフルエンザは例年通り12月中旬頃より流行し始めています。3月いっぱいくらいまでは感染対策をしっかり行いましょう！「規則正しい生活リズム」「手洗い・うがいの習慣づけ」を心がけ、寒さ・病気に負けない体作りをして冬を乗り切りましょう。

インフルエンザの予防対策のポイント

- ① こまめに手を洗いましょう。
- ② 規則正しい生活を送って十分な休養をとり、バランスのとれた食事とこまめな水分補給に努めましょう。
- ③ 室内の適切な加湿（湿度40%以上）と換気を行いましょう。

<咳エチケット>

- せき・くしゃみの症状がある場合は、マスクをしましょう。
- せき・くしゃみをする時は、口と鼻をティッシュで覆いましょう。
- せき・くしゃみをする時は、周りの人から顔をそらしましょう。

※当園では感染拡大予防の為、「登園許可書」持参の上、登園して下さい。

身近にひそむ火傷の危険！

冬は寒さから子供を守るため暖房器具がフル活動し、火傷の発生も増える時期です。また、子供の火傷の89%は、家庭内で発生すると言われています。

子どもは、体の体表面積の10%以上を火傷すると脱水やショック症状を起こし命の危険にさらされることもありますので、子供の行動範囲・発達段階に応じた予防対策が重要です。

お湯がかかった・ストーブに触れたなどすぐにわかる火傷の他に、この時期には、湯たんぽ・電気毛布・カイロやホットカーペットなどの低温やけどにも注意が必要です。低温やけどは、じわじわと皮膚の深いところまで火傷をしてしまうので完治するまで時間を要する場合があります。低温やけどを放置してしまうと患部が壊死してしまうケースもあり、低温やけどだからと安易に考えるのは危険ですので、まず病院へ行き正しい治療をしてもらいましょう。子供は、大人に比べると皮膚が薄いので特に注意が必要です